カリグラフィーで
イニシャルキーホルダー

製作：森 美也子

用意するもの
キーホルダーキット（丸型φ54mm）、
カリグラフィマーク（ペン先が平たく、
3.5mm程度の幅の広いもの）、
画用紙（白）、色画用紙、
鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、
はさみ（直線、波型、ギザギザ型など）、
のり、クラフトバンチ（各種）、
スタンブ、シールなど

作り方

1. 色画用紙の上にキーホルダーキットのふたを置き、ふたのぶちを鉛筆でなぞってうすく円を描く。
2. 鉛筆で描いた円の少し内側をはさみで切って、直径54mmの円形にする。
3. 白の画用紙にカリグラフィマークでイニシャルを書く。
4. イニシャルのまわりにキーホルダーキットのふたを使って円を描き、波型のはさみなどで丸くカットする。このとき、先にカットした色画用紙よりも少し小さい円形になるようにする。
5. 色画用紙に、イニシャルを書いた白の画用紙をのりで貼る。
6. 余白や裏面は、クラフトバンチやシール、スタンプなどを使って自由にデザインする。
7. 中身のデザインができたら、キーホルダーの本体に裏側を上にしてセットし、ふたをはめる。（ふたがある方が裏側になる）

※注意※
キーホルダーキットのふたには外側と内側があります。間違わないようにセットし、グリはめこみます。一度はめるとはずれにくくなるので、セットするときは中身が曲がっていないか確かめましょう。
カリグラフィーの基礎 ～カリグラフィーマーカーを使って～

カリグラフィーマーカーについて
ペン先が平たく、2mm、3.5mmなど、いろいろな幅のものがある。マーカーの種類には顔料系と染料系がある。マーカーは速乾性もあるためカード制作などには適している。

ガイドラインとマーカーの先の角度
バランスのとれた文字を書くために、鉛筆などで書く案内線をガイドライン（右図の実線）という。
イタリック体には、使うペン先の幅の5つを単位とした4本のガイドラインがあり、基本の文字の高さ（中央）を「Xハイト」、その上を「アセンダー」、下を「ディセンダー」と呼ぶ。

大文字の書き方
大文字を書く場合、右図のようにアセンダーとディセンダーの、それぞれの高さの中間にガイドライン（右図の点線）を引く、文字の高さの目安にする。
イタリック体の書体見本

文字：森 美也子